



な が は ま



Vol.26

平成 24年 7月 15日 発行
発行：長浜市議会
編集：議会だより編集委員会

だより



平成24年6月定例会が6月4日から6月22日まで(19日間)の日程で開催されました。

常任委員会報告	2頁
議案に対する各議員の賛否	3頁
特別委員会中間報告	4頁
議員個人による主な質問事項と答弁内容	4~9頁
各常任委員会の活動	10~11頁
議会からのお知らせ、編集後記	12頁



常任委員会報告

各常任委員会では、第2回定例会で付託された議案12件について審査を行いました。主な内容は、次のとおりです。

当委員会に付託を受けました議案は、専決処分事項の承認を求めることについて（専決第3号）ほか6件であり、慎重審議の結果、いずれも全会一致で可決・承認すべきものと決しました。また「消費税増税に反対する意見書を求める請願」は不採択となりました。（本会議では採択となり意見書案を提出）また「県立高校再編問題に関する意見書案」を当委員会から提出しました。

▼議案は、専決処分事項（減債基金積立）の承認1件、一般会計補正予算（コミニユニティ助成事業・定住自立圏推進調査事業）2件、条例の一部改正（年度末に東保育園閉園・8月1日から神前幼稚園の住所変更）2件、工事請負契約（防災行政無線のデジタル化の変更・学校給食センター本体工事）2件、財産の取得（学校給食センター厨戸機器）に関して1件でした。

▼なお、給食センターに関し、「地域等への深い配慮のもとに丁寧な手順でもつて事業を進めるとともに運営に関しても再度、熟考されるように」との意見を付しました。

給食センター予算等を審議

総務教育常任委員会

固定資産税の改正

健康福祉常任委員会

浅井簡易水道統合事業完了

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、平成23年度一般会計補正予算等、2議案であり、慎重審議の結果、いずれも全会一致で承認すべきものと決しました。

▼平成23年度一般会計補正予算は、保健センター分室改修工事のうち、駐車場整備と倉庫改修工事を平成24年度に繰越を行うものです。

▼条例関係では、地方税法の改正等が平成24年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴う、長浜市税条例の一部改正です。

▼委員会の中で質問・意見等のあつた事項は、固定資産税の積算方法、課税率額などについての質問があり、また市民への理解を求める広報等について意見が出されました。

▼協議・報告事項として、市立長浜病院から脳外科の診療高度化に対応するための診療支援棟建設にかかる経過が説明されました。期待する意見のほか、適切な駐車場管理について意見が出されました。

▼請願の「丹生ダム建設推進について」は、賛成多数で採択すべきものとし、当委員会から意見書案を提出しました。



当委員会に付託を受けました議案は、平成24年度一般会計補正予算及び条例の一部改正等の計5議案であり、慎重審議の結果、いずれも可決すべきものと決しました。

▼条例の一部改正は、浅井簡易水道統合事業が完了し、平成25年度から簡易水道事業から上水道事業へ移行することに伴い、水道事業の経営の安定化を図るため、平成24年12月請求分から、一般用基本料金を現行の600円から800円に、超過料金を100円から120円に改定を行うための一部改正等です。

▼請願の「丹生ダム建設推進について」は、賛成多数で採択すべきものとし、当委員会から意見書案を提出しました。

平成24年長浜市議会第2回定例議会議決結果表

【賛否の分かれた議案・請願・意見書】

(会派名は6月22日現在)

※ 表内の「○」は賛成・「×」は反対を表します。

※ 議長の吉田豊は採決に加わりません。

※ 会派名の「無」は、会派に属さない議員です。

【全員一致で賛成承認・可決・可と答申したもの】

第66号	専決処分事項の承認を求めるについて（第3号） 専決第3号 平成23年度長浜市一般会計補正予算（第12号）	全員賛成で承認
第67号	専決処分事項の承認を求めるについて（第4号） 専決第4号 長浜市税条例の一部を改正について	
第69号	長浜市保育所条例の一部改正について	
第70号	長浜市勤労者福祉施設条例の一部改正について	
第71号	長浜市立学校の設置等に関する条例の一部改正について	
第72号	長浜市簡易水道給水条例の一部改正について	全員賛成で原案可決
第73号	長浜市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	
第74号	工事請負契約の変更について	
第75号	工事請負契約について	
第76号	財産の取得について	
第77号	長浜水道企業団規約の変更について	
意見書案 第3号	滋賀県立高等学校再編計画に関する意見書	全員賛成で可決
諸 問 第9号	人権擁護員の推薦につき意見を求めるについて	全員賛成で可と答申

調査・検討中間報告

原子力等防災・新エネルギー調査特別委員会

当委員会は、昨年10月24日に「東北地方太平洋沖地震による福島第一原子力発電所の事故を受け、原子力施設等と隣接する本市において、原子力災害並びに風水害、地震災害等の対策及び新エネルギーの調査、研究等を行う」ため10名の委員をもつて設置され、以来、調査検討を重ねています。

まず、原子力等防災については、当局に災害対策の現状とその取り組み状況について、また県が

設置しながらも、現在は停止している余呉・西浅井にあるモニタリングポストや新規導入されたモニタリングカーラーの視察を行うとともに、敦賀発電所や美浜発電所において事故が発生した時の放射性物質の拡散シミュレーションについて調査を行い、更には市が導入する放射線簡易測定器の運用方法等について説明を求めました。

また、福井県において、原子力災害が起きた場合の避難経路の確保・正確な情報の伝達手段の確立・安定ヨウ素剤の服用基準等のマニュアル作成、全市民を対象とした避難訓練を実施してはどうかなどの意見を付しました。

次に、新エネルギーについては、当委員会で分科会を設け、種々ある新エネルギーについて調査・研究を行いながら知見を深めるとともに、当局に新エネルギーの取り組み状況の説明を求めました。

当局の新エネルギーに対する取り組みは、総合的であること、既存の諸制度が事業展開のネックになっていることなどが明らかになり、これらを解消する必要があるのではないか、などの意見を付しました。

今後も引き続い、エネルギーの自給自足・地産地消を大いなる目標とすることにより、脱原子力発電を表明していくべきと考え、さらなる調査・研究を行います。



個人質問

今期定例会では、16人の議員が個人一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容を発言順に掲載しています。

(会派名は一般質問時)



落合 武士 議員
(プロジェクト21)

市税等の未収金回収率向上と不納欠損処理抑制策について

未収金と不納欠損処理の現状について問う。

昨年度決算で市税や国保料などの未収金は約19億4千万円で不納欠損として約2億円の債権放棄との予想である。

今年度の収納率、未収金回収向上対策の取り組みについて問う。

大口、悪質なケースを中心に厳しい姿勢で臨み、債券管理条例の制定など未収金回収についてルール化を図り、収納率向上に取り組みたい。

安全・安心な通学路の確保について

通学路の終点検を誰に、どのように指示したのか。

登下校時に多発する昨今の痛ましい事故や犯罪を受け、文科省から緊急メッセージがあり、市内各小中学校に対して通学路の危険箇所の確認とともに、登下校時の安全・安心と危険回避について徹底するよう指示した。



今後の対応策、取り組みについて問う。

現時点で143の危険箇所の報告を受け、関係機関とともに再確認した。今後の対策として警察や県土木事務所等の関係機関と連携を図りながら見守りや指導、啓発などのソフト面と環境整備のハード面での改善に向けて取り組みたい。



浅見 勝也 議員
(プロジェクト21)

市の道路事業について

問 県への社会資本整備交付金の大幅な減少による市内の県道事業への影響と国・県への対応について問う。

答 当該交付金で予定される県道事業は9事業で、特に県道間田長浜線の観音坂トンネルと県道丁野虎姫長浜線は予算配分が無いため事業に遅れが生じる。国や県に原因究明と予算確保への緊急提言や要望を行っている。



問 道路の維持管理面で道路管理者としての責務について問う。

答 道路占用工事は条件付許可のもと指示し、普段パトロールを行い、状況確認と維持管理に努めているが自治会や住民に迷惑をかけている場合もある。今まで以上にきめ細やかな維持管理に努める。

問 今年度開始の「道路ネットワークあり方検討事業」の具体的な作業について問う。

答 6月中旬に府内にワーキンググループを設置、路整備マスター「プラン」、26年度「道路整備アクションプログラム」を策定する予定である。

答 本市道路事業の部分的業務で外部委託を行っているが包括的な官民連携事業として具体的に検討していない。国の動向を注視して先進自治体を参考に導入の調査・研究を行いたい。



森田 義人 議員
(新しい風)

適応指導教室について

問 現在の場所でプライバシーは守られているか。

答 事前に本人と保護者が教室を見学し、十分に意見を聞いた上で通室に配慮している。

問 旧余呂・旧西浅井をはじめ、合併前の場所に戻してほしいとの保護者の声があるがどうか。

答 今後、検討していきたい。

問 指導者数および専門職について十分な配置がされているか。

答 指導員は9名、専門職はカウンセラー3名を配置している。

問 適応指導書(カリキュラム等)はあるのか。個別の適応指導カリキュラムを作成し、対応している。

問 通室人数と復帰された人数は何人か。平成23年度は33名のうち復帰者は24名、また中学3年生14人中13人が高校進学を果たした。

就学前教育について

問 現状と課題について教育長の考え方を問う。

答 「三つ子の魂百まで」のことわざにあるように乳幼児期の育ちがたいへん重要と考える。施設整備と職員体制の充実に力を注ぎたい。

問 就学前教育の具体的方策について問う。

答 市幼児教育カリキュラム、柳沢運動ブログラム、子どもの体・脳・心育み事業とともに職員力の向上を図りたい。

問 施設整備の具体化について問う。

答 旧湖北町の合意後に、また旧高月町・旧木之本町は認定「ひも園」として近年中に整備を進める。



東 久雄 議員
(公明党)

被災地への職員派遣について

問 現職員に代わり、OBや民間企業の経験者を任期付職員として再任用し、派遣する仕組みを検討してはどうか。

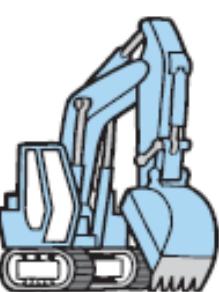
答 震災直後から被災自治体への人的支援を行っているが、被災自治体の現状を踏まえ、市として支援可能な態勢を検討する必要がある。任期付職員の採用は、専門的知識や経験を持つた人材を確保するうえで有効な手段の一つと認識しており、条例や制度設計などの具体的な検討を進めたい。

地域維持契約方式の採用について

問 建設産業の再生と地域発展、社会資本維持に有効と考えるが活用の導入と方針を問う。

答 合併後、市域が拡大し、道路・河川などの維持管理が広範囲になったこと、特に北部地域における除雪対策には地域事情に精通した地元業者の果たす役割は大きいと考える。また災害時の応急対応についても過去の災害の教訓が物語っているため地元事業者の存続は重要と認識しており、公共事業においても受注機会の増大に努めている。地域維持契約方式は有効な手段と考えられるが、運用について

は対象工事や共同企業体の構成員の数、資格等について各関係団体からの意見もあり、課題があると考えていく。





竹本 直隆 議員
(新しい風)

小谷城スマートインターチェンジについて

利活用検討委員会の設立時期はいつか。
7月を目指としている。

周辺地域の交通安全対策について問う。

交差点の改良や歩道の設置、消雪装置の整備等の安全対策や騒音等の環境問題も地元の意向を踏まえた協議を進める。

市の整備負担額について問う。

原則として負担はない。

長浜地方卸売市場について

売上減少への指導、空き店舗対策を問う。

商品のブランド化や特產品開発、野菜や魚の消費拡大事業を多面的に支援する。空き店舗対策は家賃免除や補助金の交付、謝恩セールなどのイベントによる活性化を支援する。

給食センターへの食材供給について問う。
議・検討する。

がれきの受け入れについて

受入はするのか。

不安材料が払拭されれば国・県・米原市との連携のもとに検討に入る。

まちづくり百人委員会について

委員の会議への参加減少原因は何か。

各委員の施策への関心度の違い、施策への反映についての説明が不十分であったと思われる。

他組織と重複していないか。存在価値は、性格は違う。多様な市民参加の機会と考える。



押谷與茂嗣 議員
(今浜会)

課税と徴収に対するスタンスについて

固定資産の評価替えについて混乱が生じており、説明責任不足と人事異動によるものと考える。広く

市民に対する評価の統合作業が必要と考えるが取り組みの経緯について問う。

地方税法による国の固定資産評価基準により評価するが、合併前の差異を統一し、

所要の補正を行った。合併後に全域を航空写真や街路調査を基に不動産鑑定評価を行つた。



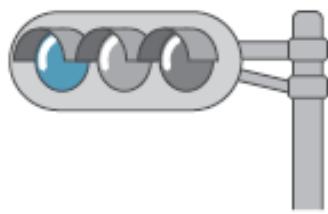
藤井 繁 議員
(新しい風)

開通間近の県道丁野虎姫長浜線の旧虎姫町内十字路の信号機設置と交通安全対策について

平成25年4月に開通のことだが、3か所もできる

る十字路への信号機設置ほか交通安全対策について問う。

全ての交差点への信号機設置については、現時点で不確定であるが、他の路線からの信号機移設、路面標示、カラー舗装、発光道路標など設置等について県および公安委員会に強く要望していきたい。



制度の目的、費用対効果について問う。
民間の能力やノウハウを活用して住民サービスの向上や経費節減を図ることを目的とし、直営時の費用と今年度の指定管理料を比較した場合、1億3千万円の経費削減の効果があつた。

指定管理料は過去3年間の施設費用と収入をもとに算定し、募集時に指定管理料限度額として示している。指定管理者選定委員会での選定にあたっては価格だけでなく、運営方法や事業計画、収支計画等について審査し、事故防止や災害対応なども含めて総合的に審査して選定している。



林 多恵子 議員
(公明党)

空き家対策について

問 適正管理を促す「空き家対策条例」を制定すべきではないか。

答 高齢化や核家族化が進み、全国的に空き家も増加傾向にある。雑草や樹木繁茂など生活環境のこと、不審者の侵入や青少年のたまり場になるなどの防犯のこと、放火などの火災予防のこと、倒壊など建築のことなど各分野にまたがる様々な課題を含んでいるため、関係部署が連携し、先進事例を研究しながら助成制度や条例の制定も研究していきたい。

子育て支援について

保育士の待遇改善について問う。

答 労働環境そのものの向上として正規職員の増加を図る。臨時職員は「経年昇給制度の導入(平成19年度から)」「退職後3年以内なら退職時賃金での再雇用(今年度から)」「職責に応じた手当額(今年度から)」等を導入していく。さらに適切な勤務環境の整備に取り組みたい。

柳沢運動プログラムについて

問 今年度から導入したが効果や検証について問う。

答 最終的に4つの運動ができるることを目的とし、身体的成长を図るとともに、達成できたことによって生まれる向上心や自尊心など心の成長を図ることが重要と考える。検証方法は今後の課題とするところもあるが、現段階では成長の記録やアンケートなどを実施する予定である。



竹内 達夫 議員
(日本共産党)

消費税増税について

問 こんな不況のときに消費税10%とはどんなことである。市民への影響や負担増、公共事業や物品購入への影響はどうか。

答 年収450万円以上で夫婦2人と子ども2人の家庭では年間10万円程度の負担増と予測する。市の負担は16億7千万円の見込みとなる。

市営・改良住宅問題について

問 旧虎姫町の市営および改良住宅で又貸しや不正入居が多数あることを指摘し、住民監査請求をしたが、すんな管理があることを認めながら棄却された。仕方なく住民訴訟をしたが、

適正化推進室を設置し、管理を強化、元虎姫町助役も又貸しの一部を認めて35万1千円を返金したため訴訟を取り下げた。これ以上の裁判結果は税金の無駄遣いと考えるがどうか。

答 裁判という公開の場で市の主張を行った上で司法の判断を仰ぐことが何より市民の説明責任を果たすことになる。

よって取下げに同意しないことが市民の利益に資すると考える。

問 長期改良住宅を又貸しして多額の利潤を得た元虎姫町助役、住宅貸付資金281万円を滞納していた元木之本町議への対応が甘い。裁判に訴える前に有効な手段を取ったのか。

答 元助役には改良住宅の明渡しを請求したが応じず、元町議は異議申し立てがあつたため裁判となつた。



中嶋 康雄 議員
(新しい風)

市内の交通安全と通学方法の確保について

問 交通安全と安全な通学方法の確保のための「地域安全マップ」の整備等について問う。

答 通学路情報については紙ベースのみであり、今後、統合型地理情報システムを活用し、登下校の安全確保に向けた検討に取り組む。

またゾーン30の取り組みは有効な施策と考え、積極的に関係機関等と協議し、整備に取り組みたい。



土地利用計画について

問 土地利用計画に伴う各種規制解除について問う。

答 宅地造成、既存工場の拡張、代替移転等については地域貢献等の一定の条件を満たすものであれば転用要件等の緩和をすべきと考える。関係部局と連携し、国・県へ要望したい。

(註) 地域安全マップ…犯罪等に巻き込まれそうな場所等を示すため自身で調べて地図を作成することで「自分自身で身を守る」意識を持つことに有効とされる。



松本 長治 議員
(新しい風)

太陽光発電の導入推進について

問 学校施設などに太陽光発電等の再生可能エネルギー設備を設置することで「子どもたちに節電やエネルギーへの关心を持たせる」「災害時の非常用電源設備」「発電状況などの情報を提供することで市民が設置に取り組む啓発」が期待できるのではないか。

答 災害時の対応や環境教育などの観点から学校をはじめとする施設への再生可能エネルギー導入について積極的に検討していく。

問 「市民が主体のエネルギー創造基金」の創設

問 市内各地域で自治会などを中心に自然を活かした発電を計画される場合に、無利子で事業費を融資し、発電事業の地産地消のきっかけとするため『市民が主体のエネルギー創造基金』の創設を提案する。

答 事業にかかる初期コストを低くするには、地球温暖化対策推進基金や他市などで取り組まれている「出資方式」に加え、今回提案の『市民が主体のエネルギー創造基金』のような融資制度は有効であると考える。今後幅広く検討していく。



山岡 孝明 議員
(プロジェクト21)

北陸新幹線の敦賀以西ルートについて

長浜市としての考え方を問う。

答 平成47年頃の着工と予測されている。小浜・湖西・米原への3つのルートについて、便益波及効果の比較検討中であり、市として明確な意思を表明する段階に至ってない。

コミュニティスクール（学校運営協議会）について

昨年までの指定状況と成果を問う。

答 平成21年から取り組み、昨年度で35校の指定を受けた。設置によって地域に根差し、子どもたちの実態に即した特色ある学校づくりが促進されたと考える。

問 市内全校に設置する理由について問う。

答 支援活動が広がり、地域に根差した活力ある学校づくりに有効な取り組みである。

問 制度内容、運営について問う。

答 法を柔軟に解釈したり、本市の実態に即した規制となるよう見直したりなどの検討をする。

小中連携教育について

問 今後の取り組みについて問う。

答 今後も一貫した教育理念のもと、9年間、さらに保・幼・認定こども園を含めた就学前教育の連続した学びの充実を目指したい。

幼稚園教育について

問 園への事務職員配置の考え方を問う。

答 園経営の現状を勘案し、就学前教育が充実できる仕組みづくりを十分に研究し、改善に向けて関係部署と協議を進めたい。



西尾 孝之 議員
(今浜会)

獣友会の問題について

長浜民報「ひきやま」の有害鳥獣に関する記事について問う。

答 市内に狩猟団体が2団体あるが、両団体の協力のもと有害鳥獣の捕獲にあたることが理想的であり、その理念で議員から提案をいただいたものと理解している。



問 改良住宅の趣旨は熟知しているはずである。これまで柔軟に対応してきたこともあり、杓子定規に進められない。市民が困惑している。

答 コンプライアンスによる入居適正化のためチラシや「ガイド冊子」を作成・配付し啓発している。入居関係に問題がある場合は、さまざまなケースに応じて個別対応策を検討し、訪問や文書で丁寧に対応しながら理解を得られるようしている。理解いただけない場合は、十分に対話をしながら段階を踏み、最終的には使用許可取消や明渡請求をする場合もある。



浅見 信夫 議員
(日本共産党)

特別支援教室について

長浜養護学校（特別支援学校）は、児童・生徒の急増で教室が不足し、教育環境が悪化している。県や県教委に大規模化への抜本的な決策を求めるべきではないか。

答 県教委は特別支援児童・生徒や保護者、特別支援学校の立場に立った対応策を出すべきであると感じる。県教委へ改善を要請している。

社会保障制度、福祉施策について

扶養義務を生活保護受給申請時に審査要件とすることは法の趣旨に反し、生存権を侵害すると思うが市の見解を問う。

扶養義務は民法上優先されるものの機械的な運用は適当でなく、受給要件としていない。子ども医療費助成制度の予算と拡大について問う。

原子力災害対策計画について

現在の「就学前の乳幼児の所得制限なし」の無料化・小中学生の入院費無料化」の維持を優先する。仮に小学3年生まで通院費を無料化すれば5千3百万円の予算化が必要である。

つ行うのか。

答 災害対策基本法による国の防災指針の改定を受け、市民の安全・安心のため早期の見直しに努める。



杉本 敏隆 議員
(日本共産党)

大飯原発再稼働と原発ゼロについて

政府が示した安全基準未達成」「地震や津波の学問的知見の根底から見直し」「住民避難計画が無い」「眞の原子力規制機関が無い」という5つの問題があり、隣接自治体首長として再稼働中止を求めるべきと思うがどうか。

答 再稼働の絶対的安全確保は現時点では得られない。原子力発電のあり方について早急に決断する必要があるが、いずれは無くすることが必要ではないかと考える。

支所地域の振興について

4月から全ての支所が2課体制となり、支所長は部長級ではなく地域振興課長が兼務している。単に体制変更にとどまらず、機能弱体化をもたらしている。支所地域振興の考え方を問う。

漁港整備計画について

標識灯整備が後回しになっているが、安全に関する問題は優先すべきと思うがどうか。

答 緊急性がある場合は優先度を見直す。

結婚相談員制度の充実について

窓口を社会福祉課内に設置し、地域力向上の目的から市を挙げて総合的に取り組むことについて問う。



土田 良夫 議員
(プロジェクト21)

今夏関西電力管内の電力不足対応について

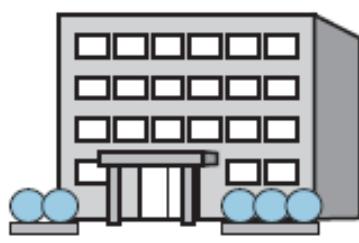
昨年の節電効果はどうか。また今年の節電目標と内容について問う。

答 昨年7月から9月までの期間で前年度比15%の削減目標に対し17%削減を達成し、210万円の電気料金を節約することができた。今夏は21万4千5百キロワットを削減見込みとして取り組んでいる。電力需給ピーク時の消灯や空調運転時間の短縮などに取り組み、各課に節電推進員を配置して進捗管理を徹底する。

市全体の公共建築物維持保全計画について

現状把握と中長期的な体制作りについて現在の進捗状況と今後の具体的な万向性を問う。

答 ファシリティマネジメントの考え方を導入している草津市を視察し、課題整理をしているところである。専門的な技術者職員を確保し、統括する部署が維持保全計画を企画立案し、施設の保全管理にあたることが重要と認識した。こうした



課題整理を踏まえ、スケジュールや計画レベル、実施体制などを整理し、綿密な制度設計が必要である。まず各部局と連携して問題・課題を洗い出したうえで具体的な検討を進めたい。

定例常任委員会を開催

本市議会では、議会改革の一環として閉会中においても定例的(第3木曜日)に常任委員会を開催しています。二元代表制の本旨を実現するため、行政当局からの協議事項や議会からの報告要請事項の説明を受け、事務事業の進捗状況や策定中の計画などを審査しています。

4月と5月に開催された各常任委員会での審査事項を掲載します。

質問 答 意見

4月定例委員会（4月19日）

◆新庁舎関連事業の推進状況

【説明内容】新庁舎関連の工事について、スケジュールや交通安全対策等について周辺の5自治会と学校や保育園などの教育施設へ説明した内容および自治会から質問のあった事項について

(質問・回答要旨)

地下水への質問が多くあつたと思うが説明した内容は、工口の観点からも検討して毎分1丁を汲み上げる。

特に通学に対する交通安全の配慮はどうか。

通学時間帯には工事車両は通行しないこととなる。

提案された地元業者請負率51%の確認は。

提案を信用する。報告書で確認する。

本庁跡地の利活用の考えは何かあるのか。

観光客の導線のため地域から駐車場として活用する要望もあり、一つの有効な選択肢として考えている。今後、様々な検討を重ねる。

◆長浜市文化ホール有効活用計画（案）

【説明内容】合併により県内各市で最多(8)の文化ホールが存在する。利用度により「文化芸術」「地域文化」「市民活動」「公民館」に分け、身の丈にあつた再検討について

(質問)

有効活用の方向性について当局の考えは地域文化団体の発表の場となっていることが多い。事業を行政が用意するのではなく、地域の方にどんどん使っていただけよう仕掛けをしたい。

◆長浜市市民協働推進計画（案案）

【説明内容】昨年施行の市民自治基本条例の行動計画。平成28年までの計画とし、計画趣旨・理念・現状と課題・今後の施策展開等について

◆学校等施設整備の状況

【説明内容】高円中・神照小・木之本小・伊香具小・神前幼稚園・北保育園・さくらんぼ保育園の工事進捗状況について
質 かつてない工事本数を抱えているが組織的に対応できているか、予定に遅れは生じないか。
答 今のところ遅れは生じないと考える。

5月定例委員会（5月24日）

◆新庁舎建設事業の推進状況

【説明内容】旧病院建物解体工事、新庁舎建設工程について
質 防音と交通対策について、きちんと対応するよう。
答 いるか。

◆未利用財産と方針について

普通財産が行政財産を上回っているのは異常である。合併の影響もあるが、特に未利用財産の方針についてはスピード感を持って対応するよう。

質 さまざまな地域事情があるが、地域の声を聞きながら公有財産審議会や公有財産利活用推進本部で検討を重ねたい。

◆行政改革アクションプラン平成23年度実績概要報告

【説明内容】2度の合併を経て、未来にツケを残さない持続可能な行政運営の確立と協働が根付く地域社会の構築を方針に行政改革アクションプランとして定めた45項目の進捗状況について
質 評価の基準が一律でなく、進捗率の考え方がおかしい。
答 総合的評価と個別の評価が必要と思われる事務事業もあらため、今後検討したい。

健 康 福祉 常 任 委 員 会

4月定例委員会（4月19日）

委員会に先立ち「滋賀県立養護学校」「通所施設たいこ教室」「新たいこ教室」の建設予定地を視察しました。

◆ ようがい福祉施策について

【説明内容】重点施策、バリアフリーマップ湖北及びバリアフリー改修助成事業、しおがい者サービス、子どもの発達と教育支援について

【意】平成23年度にできあがった「バリアフリーマップ湖北」は、3千部しか印刷されておりず、必要とされる市民全員に配布することができないのではないか。
【答】ヨーバーサルデザインの考え方を全庁的・横断的に進めるべき。



5月定例委員会（5月24日）

◆ 国民健康保険事業について

【説明内容】国民健康保険料、特定検診について
【意】国民健康保険料の多額による滞納の分析と減少に向けて対策を講じるべし。

【質】資格証明期限切れの方のセーフティーネットについて
【答】一日は10割の負担をいただくが、後で戻るというシステム。

◆ 合理化事業計画に係る議会決議への対応について

【説明内容】議会で決議されたことについて、第三者委員会を湖北広域行政事務センターで設置

【質】第三者委員会は、長浜市で設置し、合理化事業計画を検討しなければならないのではないか
【答】合理化事業計画書を平成14年度に作成し、15年度に議会の承認を得ている。支援のあり方について、第三者委員会で検討していくだ。

産 業 建 設 常 任 委 員 会

4月定例委員会（4月19日）

次の5項目について審査し、午後に河川整備状況を現地で確認しました。

◆ 有害鳥獣対策について

【意】今後も有害鳥獣による被害が見込まれる地域ことでどういった手法が良いのか、方針を出していく必要がある。

◆ 神照運動公園フル整備事業の概要について

【意】交通安全対策、駐車場問題等の施設の安全性、利便性、管理等が問題となつてゐる。

◆ 市北中部の広域公共交通適正化に関する指針（案）について

【意】プロ自線・市民自線・管理上の田線、様々な角度から十分検討するよう。

◆ 建築住宅課所掌事務（住宅資金貸付償還、住宅適正化）について

◆ 市内河川の整備状況について



5月定例委員会（5月24日）

◆ 統合型地理情報システムについて

【説明内容】導入スケジュール、データ内容、効果などについて
【意】個人情報には十分配慮するよう。

【質】市民サービスの向上を図るとともに、業務の効率化・高度化を図り、導入効果が得られるよう。

◆ 除雪機械購入補助制度の見直しについて

【説明内容】除雪作業機械の購入補助制度の拡充内容について

【質】補助基準額の区分設定について、山村地域で活るものではなく、近年の降雪量等を勘案し検討を行うよう。
【答】対象となる機械について現状にあった見直しを行うよう。

◆ 長浜・戰国大河ふるさと博の現状について

【説明内容】入場者数状況、現状での評価と課題、目標達成のための方策等

議会の会議を傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

今後の会議予定

7月 19日	10時～	産業建設常任委員会
	13時～	健康福祉常任委員会
	15時～	総務教育常任委員会
9月 3日		第3回定例会開会日
11日～13日		一般質問
14日		産業建設常任委員会
18日		健康福祉常任委員会
19日		総務教育常任委員会
21日		閉会日・採決

(上記の日程は変更される場合があります)

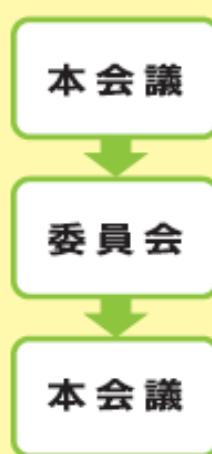
この他にも随時、議会運営委員会等が開催されますので、日程等はホームページでご確認ください。

長浜市HP → 長浜市議会 → 議会行事予定

Q&A

議会の審議は、どのように進められているの？

市議会は、市民生活に関する幅広い行政事務、条例や予算などを審議し、議決します。市長を執行機関、市議会を議決機関といい、両者は車の両輪のように、ともに市政発展のために活動しています。今回は議会の審議の進め方をご紹介します。



市長が議案内容と提案理由を説明し、議員から一般質問や質疑が行われます。質疑は、議案に関して、質問は議案に関係なく広く行政全般にわたって行われます。議案は、内容によって所管の委員会に付託されます。また、市民の皆さんからの声を議会に届ける制度として請願や陳情があり、請願は議案と同様の審査を経ます。

委員会は、常任委員会と特別委員会があります。常任委員会は、総務教育、健康福祉、産業建設の3つがあり、特別委員会は特定の事業について調査・研究するために必要に応じて設置される委員会です。委員会では、市担当者から説明を受け、質問の後に委員会として議案に賛成か反対かを採決します。

各委員会の委員長が議案や請願の採決結果を報告します。この報告をもとに質疑や討論が行われた後に採決し、多数決により議決されます。

ながはま市議会だよりの「編集委員会」

ながはま市議会だよりの「編集委員会

録画中継・ライブ中継のご案内

傍聴の時間が取れない方、諸事情により来られない方のために録画中継やライブ中継を行っています。また会議録も閲覧していただけます。

本会議の映像閲覧・会議録検索

長浜市HP → 長浜市議会 → 議会中継・会議録検索

前号の議会だよりに誤りがありましたので訂正します。

浅見信夫議員 原子力災害対策について

【正】問 県は原子力災害対策の見直しで、UPZ（防災対策を重点的に充実すべき地域）を原子力発電所から42kmまで拡大。PPA（放射線ブルーム通過時の被爆の影響を避けるための防護措置を実施する地域）を県内全域としている。

【誤】問 県は原子力災害対策の見直しで、UPZ（放射線ブルーム通過時の被爆の影響を避けるための防護措置を実施する地域）を県内全域としている。

編集後記